



キリギリスはチョウを^た食べるって^{ほんとう}本当なの

キリギリスは^{にくしょく}肉食^{ちゅう}こん虫

キリギリスは、見かけがバッタに似ていますから、バッタとまちがえている人も多いようです。キリギリスもコオロギも、バッタと同じグループの仲間には入りますが、好きな食べ物^{もの}ということでは、ちがってきます。バッタの仲間は、どれも植物性^{しょくぶつせい}の食べ物^た、草の葉^{くさ}などしか食べません。しかし、キリギリスもコオロギも、植物^{しょくぶつ}も食べますが、本当^{ほんとう}は動物性^{どうぶつせい}の食べ物^たが好きな、肉食^{にくしょく}こん虫^{ちゅう}の仲間^{なかま}に入^{はい}るのです。

アマガエルも^た食べることがある

土^{つち}の中で卵^{なかにたまご}からかえ^{かえ}ったキリギリスは、だっ皮^びをくり返^{かえ}して、成虫^{せいちゅう}になっていきます。まだ体^{からだ}が小さいころは、やわらかいタンポポなどの花粉^{かふん}、花びら^{はな}、種^{たね}などを食べ^たています。体^{からだ}が大きくなるにつれて、草むら^{くさ}にいる、小さいこん虫^{ちゅう}をつかまえて食べ^た始め^{はじ}めます。まだ、小さいカマキリや、キリギリスと同じ仲間^{おなじなかま}のヒメギス、ベニシジミなどの小さいチョウ、などがキリギリスの食べ物^たになります。体^{からだ}が大きくなると、アマガエルなども食べ^たます。

肉食^{にくしょく}する仲間^{なかま}は、前足^{まえあし}にとげがある

キリギリスの前足^{まえあし}には、獲物^{えもの}をつかまえてにがさないために、するどいとげがたくさんついています。同じキリギリスの仲間^{おなじなかま}でも、植物^{しょくぶつ}しか食べ^たないツユムシの前足^{まえあし}には、ほとんどとげはありません。

キリギリスはよく^な鳴く

バッタとキリギリスが^{おお}大きくちがうのは、夏^{なつ}の終わりごろから、キリギリスのオスは、羽^{はね}をこすり^あ合わせて鳴^なくようになることです。（監修・中山 周平）

